

令和2年度

夏の企画展

# 車いすと 戦傷病者



2020年 **7.14** 四 → **9.13** 日

開館時間：10：00—17：30

(入館は17：00 まで)

休館日：毎週 月曜日・8月11日(火)

【8月10日(月)は開館】

会場：しょうけい館 1階 企画展示室

協力：株式会社オーエックスエンジニアリング

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期等を変更・中止する場合があります。  
最新の情報は当館ホームページをご確認下さい。



しょうけい館  
戦傷病者史料館  
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers etc.

入場無料

[www.shokeikan.go.jp](http://www.shokeikan.go.jp)

令和2年度 夏の企画展 / 入場無料

2020年  
7月14日(火) — 9月13日(日)

開館時間：10:00 — 17:30 (入館は17:00 まで)

休館日：毎週 月曜日・8月11日 [8月10日(月)は開館]

会場：しょうけい館1階 企画展示室

# 車いすと戦傷病者



戦後75年にあたる今年には、戦傷病者とそのご家族にとって大きな節目の年です。戦傷病者の生きた時代を、戦場の前線で脊髄を負傷し、戦傷病者の車いす生活の労苦を通して振り返ります。また、展示資料を車いす使用者の目線で観覧もできるようにしております。

先の大戦で負傷した兵士は、除隊後に国を統後で支える傷痍軍人として、「再起奉公」のために陸海軍病院でリハビリと職業訓練に励みました。一方で、脊髄損傷など重度の障害を負い、歩行などの日常動作が困難となった傷痍軍人は社会復帰がかなわず、箱根の傷兵院（箱根療養所）で療養生活を送ることになりました。箱根療養所での車いす生活は、医療関係者による専門的な療養ケアだけでなく、家族の介護と支援がなければ成り立たないものでした。



当館は、戦傷病者とそのご家族等が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、後世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族等の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。

## ◆ 地下鉄 ◆

東西線、半蔵門線、都営新宿線 「九段下」 駅6番出口から徒歩1分

## ◆ 都営バス ◆

高71系統（九段下～高田馬場駅）「九段下」 停留所から徒歩1分

\* 駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

\* 車いすで来館される場合は館の西側入口をご利用ください。

しょうけい館  
戦傷病者史料館  
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers etc.



www.shokeikan.go.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13 ツカキスクエア九段下  
TEL : 03-3234-7821 FAX : 03-3234-7826